3-277-770-**02**(1)

リニアPCMレコーダー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

PCM-D50

©2007 Sony Corporation

⚠警告　安全のために

本製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この取扱説明書の注意事項をよくお読みください。

定期的に点検する

1年に1度は、ACパワーアダプターのプラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、ACパワーアダプターや充電器などが破損しているのに気づいたら、すぐにソニーの相談窓口（裏表紙）に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら

1. POWERスイッチをOFFにします。
2. 本体から電池を取り出します。
3. ACパワーアダプターを使用しているときは、コンセントから抜きます。
4. ソニーの相談窓口（裏表紙）に修理を依頼します。

警告表示の意味

本書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号	火災　感電
行為を禁止する記号	禁止　接触禁止　ぬれ手禁止　分解禁止
行為を指示する記号	指示

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- 本製品の不具合により、録音ができなかった場合、および録音内容が破損または消去された場合、録音内容の補償についてはご容赦ください。
- 本製品を使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。
- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- あなたが録音したものは個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

バックアップのおすすめ

万一の誤消去や、レコーダーの故障などによるデータの消滅や破損にそなえ、大切な録音内容は、必ず予備として、パソコンなどにバックアップしてください。

目次

概説

準備

録音

録音後の操作

メニュー操作

その他

下記の注意事項を守らないと火災･感電･人身事故の原因となることがあります。

禁止

運転中は使用しない

- 自動車、オートバイなどの運転をしながらヘッドホンを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。
- 運転中以外でも、踏切や駅のホーム、車の通る道、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所では使用しないでください。
- 歩きながら使用するときは、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に充分ご注意ください。

禁止

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐにPOWERスイッチをOFFにして、ACパワーアダプターや充電器を使用中ならコンセントから抜き、ソニーの相談窓口（裏表紙）にご連絡ください。

接触禁止

雷が鳴りだしたら、電源プラグにふれない

感電の原因となります。

禁止

指定以外のACパワーアダプターや充電器を使わない

破裂･液漏れや、過熱などにより、火災、けがや周囲の汚損の原因となります。

禁止

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、直射日光のあたる場所には置かない

火災や感電の原因となることがあります。
とくに風呂場では絶対に使用しないでください。

指示

国内専用機は海外で使用しない

付属のACパワーアダプターは日本国内専用です。交流100Vの電源でお使いください。海外など、異なる電源電圧で使用すると、火災･感電の原因となります。

⚠注意

下記の注意を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

大音量で長時間つづけて聞きすぎない

禁止

耳を刺激するような大きな音で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
とくにヘッドホンで聞くときにご注意ください。
呼びかけられて返事ができるくらいの音で聞きましょう。

はじめからボリュームを上げすぎない

禁止

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、ICレコーダー、MD、CDやDATなど、雑音の少ないデジタル機器をヘッドホンで聞くときにはご注意ください。

通電中のACパワーアダプターや充電器に長時間ふれない

禁止

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

内部を開けない

分解禁止

感電の原因となることがあります。内部の点検修理は、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にお問い合わせください。

ぬれた手でACパワーアダプターや充電器をさわらない

ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

本体やACパワーアダプターを布団などでおおった状態で使わない

禁止

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

電池についての安全上のご注意

液漏れ･破裂･発熱･発火･誤飲による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠危険

乾電池、充電式電池が液漏れしたとき

乾電池、充電式電池の液が漏れたときは素手で液を触らない

液が本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口（裏表紙）にご相談する。

液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受ける。

液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談する。

⚠警告　乾電池･ボタン型電池について

- 小さい電池は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届くところに置かない。万が一飲み込んだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるので、直ちに医師に相談する。
- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯･保管しない。ショートさせない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 使いきった電池は取りはずす。長時間使用しないときや交流電源で使用するときも取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

⚠注意　乾電池、ボタン型電池について

- 火のそばや直射日光のあたるところ･炎天下の車中など、高温の場所で使用･保管･放置しない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。
- 指定された種類以外の電池は使用しない。

⚠危険

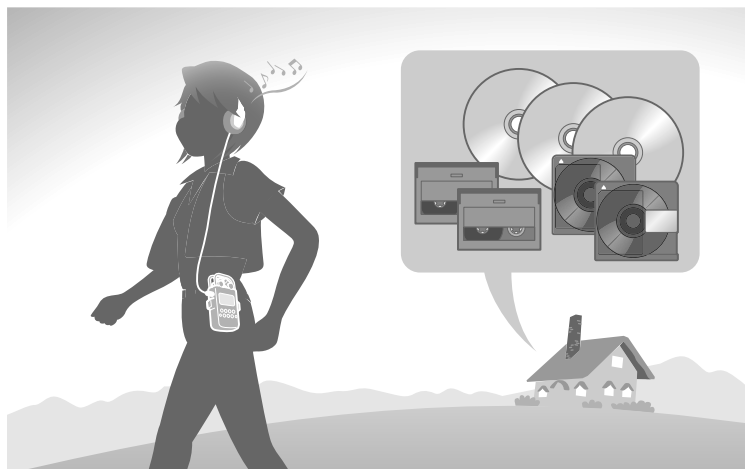
充電式電池について

- 指定された充電器以外で充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- 火のそばや直射日光のあたるところ･炎天下の車中など、高温の場所で使用･保管･放置しない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 機器の表示に合わせて⊕と⊖を正しく入れる。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯･保管しない。ショートさせない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。
- 指定された種類以外の電池は使用しない。
- 使いきった電池は取りはずす。長時間使用しないときも取りはずす。

楽器演奏の練習に

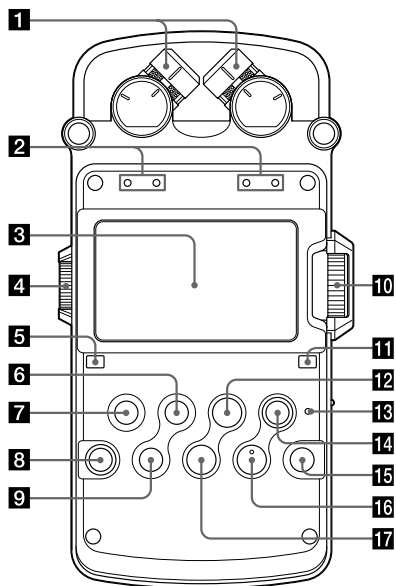
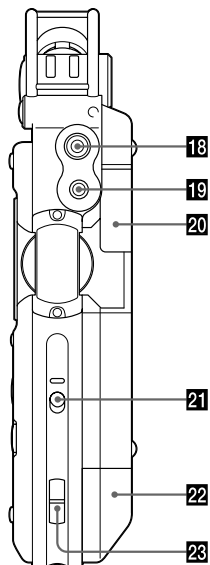
- 内蔵マイクロホンで簡単に録音。複雑なマイクセッティングは不要です。
- “デジタルピッチコントロール”で速聴き・遅聴きが可能。お手本となる楽曲を本機で再生して練習するのに最適です。（33ページ）
- 付属のパソコン用ソフトウェア“SonicStage Mastering Studio Recorder Edition”で、簡単に高音質で音楽CDを作成できます。
- 別売のリモートコマンダー（RM-PCM1）で離れた場所から録音開始/停止、分割などの操作が可能です。
- 別売の三脚（VCT-PCM1）に取り付けられます。

屋外での録音に

- 高感度内蔵マイクロホンで手軽に録音ができます。
- 外部マイクロホンも接続可能です。（ステレオミニプラグ）
- 別売のウインドスクリーン（AD-PCM1）を使うと、屋外の風切音を低減できます。
- 別売のXLRマイクロホンアダプター（XLR-1）に取り付ければ、XLRバランス接続の外部マイクロホンが使用可能です。XLR-1は、ファンタム電源にも対応しています。
- プリレコーディング機能を使うと、録音スタートの5秒前にさかのぼって音源を記録できます。（27ページ）
- 余裕のロングバッテリーライフ。単3形アルカリ乾電池4本で約12時間の録音が可能です。
- 別売のキャリングケース（CKL-PCMD50）は、本機の持ち運びに最適。ベルトストラップで腰に取り付けて携帯可能です。

高音質なミュージックプレーヤーとして

- 高性能ヘッドホンアンプ搭載で、低域から高域までバランスの良いパワフルな再生が可能です。
- 外部機器からのデジタル録音に対応。DATやMDなど過去のミュージックライブラリーをデジタルでそのまま記録できます。（29ページ）
- ラインイン接続でアナログレコードやカセットテープのアナログ音源をデジタル化できます。（28ページ）
  パソコンに転送して保存することもできます。（36ページ）
- MP3再生にも対応しています。
- 別売のキャリングケース（CKL-PCMD50）は本機の持ち運びに最適。ベルトストラップで腰に取り付けて携帯可能です。

各部の名前と働き

本体前面

本体右側面

次のページへ続く

各部の名称と働き（つづき）

❶ 内蔵マイクロホン（22ページ）

❷ ピークレベルランプ（L/R）（25ページ）
入力レベルに応じて、「-12dB」（緑）と「OVER」（赤）のランプでピークレベルを確認できます。

❸ 表示窓（16ページ）

❹ ボリュームダイヤル（26ページ）
ダイヤルを回し、「•」の位置にレベル（0 ～ 10）を合わせ、再生時の音量を調節します。

❺ A-B（リピート A-B）ボタン（34ページ）

❻ ▶▶IFF（早送り）/▲（上）ボタン（32、41ページ）

❼ /MENU（フォルダ/メニュー）ボタン（24、31、32、41ページ）
フォルダを切り替えます。長押しすると、メニュー操作画面が表示されます。

❽ LIGHT（ライト）ボタン
表示窓のバックライトを点灯/消灯します。

❾ I◀◀FR（早戻し）/▼（下）ボタン（32、41ページ）

❿ REC LEVEL（録音レベル）ダイヤル（25ページ）
ダイヤルを回し、「•」の位置にレベル（0 ～ 10）を合わせ、録音時の音量を調節します。

⓫ DISPLAY（表示）ボタン（16ページ）
表示窓の時間情報表示を切り換えます。

⓬ IIPAUSE（一時停止）ボタン/ランプ（25、27、32ページ）

⓭ ACCESS（アクセス）ランプ（19、46ページ）
メモリーへのアクセス中に点滅します（録音中は除きます）。

⓮ ●REC（録音）ボタン/ランプ（25ページ）

⓯ DIVIDE（分割）ボタン（35ページ）

⓰ ►PLAY/ENTER（再生/決定）ボタン/ランプ（31、34、41ページ）

⓱ ■STOP（停止）ボタン（25、32ページ）

⓲ （マイクロホン）ジャック（28ページ）

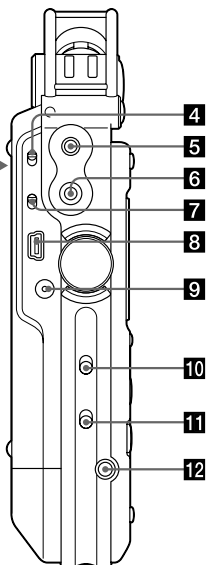
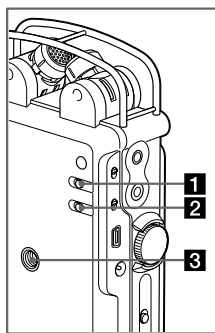
⓳ LINE IN（OPT）（ライン入力（光））ジャック（28 ～ 30ページ）

⓴ メモリースティックスロット（46ページ）

㉑ POWER（電源）スイッチ（19ページ）
電源を「ON」/「OFF」（入/切）します。

㉒ 電池ぶた（18ページ）

㉓ ストラップ取り付け部
（ストラップは付属していません。）

本体左側面

1 LIMITER（リミッター）スイッチ（23、44ページ）

2 LOW CUT FILTER（ローカットフィルター）スイッチ（23、44ページ）

3 三脚取り付け用穴

4 INPUT（入力）スイッチ（24、28、29ページ）
「🎤」（マイクロホン）に合わせると、内蔵マイクロホンまたは🎤ジャックに接続したマイクロホンから入力された音声を録音します。「LINE」に合わせると、LINE IN（OPT）ジャックに接続した機器からの音声を録音します。

5 LINE OUT（OPT）（ライン出力（オプティカル））ジャック　（34ページ）

6 🎧（ヘッドホン）ジャック（26、31ページ）

7 MIC ATT（マイクアッテネーター）スイッチ（23ページ）

8 USB端子（36ページ）

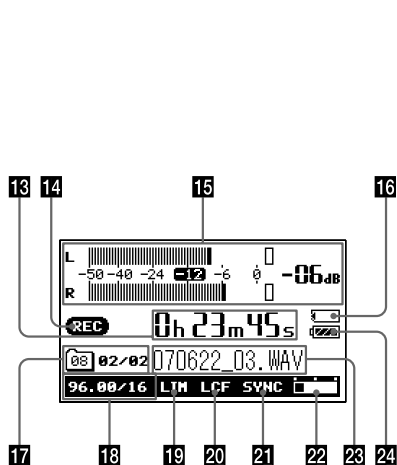
9 DC IN 6Vジャック（20ページ）

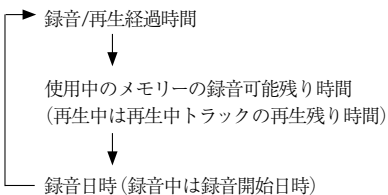
10 HOLD（ホールド）スイッチ
「ON」側にずらすと、ボタン操作が働かなくなり、誤操作を防ぎます。録音/再生中は、常に「ON」位置にしておくことをお奨めします。解除するときは、「OFF」側にずらします。

11 DPC（デジタルピッチコントロール）スイッチ（33、43ページ）

12 REMOTE（リモート）ジャック（30ページ）

次のページへ続く…▶

表示窓

13 時間情報

DISPLAYボタンを押すたびに、時間情報が下記の順で切り換わります。一時停止中は、表示が点滅します。

14 録音/再生状態

本機の操作状態に応じて、下記の表示が出ます。

表示	状態
REC	録音
●II（点滅）	録音一時停止、録音スタンバイ
▶	再生
▶II（点滅）	再生一時停止
■	停止
◀◀ / ▶▶	早戻し/早送り再生
I◀◀ / ▶▶I	連続トラック戻し/送り

15 レベルメーター/ピーク値（25ページ）

レベルメーターとピーク値の最大値を数値で表示します。設定値を超えた場合は OVER と表示されます。

MP3ファイルを再生中は、この位置にアーティスト名とタイトル情報が表示されます。

16 メモリースティック表示

使用中のメモリーが「メモリースティック」のときに表示されます。

17 フォルダ/トラック番号

フォルダは(録音/再生可能なフォルダ)、または(再生専用フォルダ)で区別されます。(38ページ)

トラック番号は、「現在のトラック番号/フォルダ内の総トラック数」が表示されます。

18 録音モード

停止中はメニューで設定されている録音モードが、録音/再生中は現在のトラックの録音モードが表示されます。

19 リミッター設定

LIMITERスイッチが「ON」のときに表示されます。

20 LCF設定

LOW CUT FILTERスイッチが「ON」のときに表示されます。

21 シンクロ録音設定

メニューの「SYNC REC」設定が「ON」のときに表示されます。

22 メモリー残量

使用中のメモリーの残量が表示されます(26ページ)。

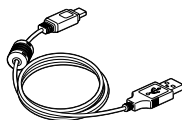
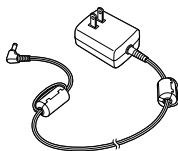
23 ファイル情報

トラックのファイル名が表示されます。

24 電池残量(19ページ)

準備

付属品を確認する

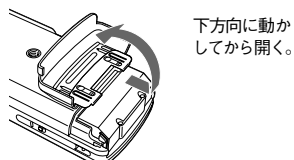
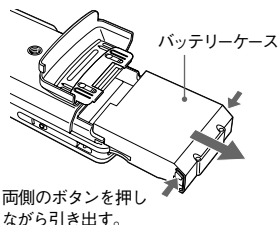
- USBケーブル（36ページ）

- ACパワーアダプター（6V）（20ページ）

- 単3形アルカリ乾電池 4個
- CD-ROM
  (「SonicStage Mastering Studio Recorder Edition」*、「Windows 2000用ドライバ」)
- 取扱説明書（本書）
- SonicStage Mastering Studio Recorder Editionのご案内

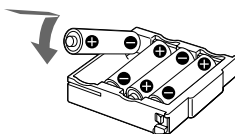
* 「SonicStage Mastering Studio Recorder Edition」は、パソコンでの加工やCD作成をサポートするアプリケーションソフトウェアです。ソフトウェアの紹介とインストールの方法については、「SonicStage Mastering Studio Recorder Editionのご案内」をご覧ください。

この取扱説明書で説明している以外の変更や改造を行った場合、本機を使用できなくなることがありますので、ご注意ください。

準備1：電源を準備する

付属の単3形アルカリ乾電池4個を使用します。

1 本体後面の電池ぶたを開けます。

2 本体からバッテリーケースを取り出します。

3 電池4個を、取り出したバッテリーケースに入れます。

電池の⊕と⊖の向きを正しく入れてください。

4 バッテリーケースを本体の元の位置に入れ、電池ぶたを閉めます。

Information

- 本体からバッテリーケースを取り出すときは、本機の電源を切ってください。

お買い上げ後初めて電源を入れると

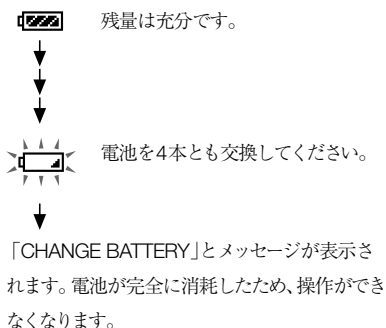
POWERスイッチを「ON」の位置に合わせて電源を入れると、表示窓に「ACCESSING MEMORY...」と表示されます。また、ACCESSランプが点滅し、動作に必要な情報を読み込みます。お買い上げ時は時計が設定されていないため、時計設定画面に変わります。

電池の交換時期

電池を使用しているとき、表示窓に電池残量が表示されます。

残量は充分です。

電池を4本とも交換してください。

「CHANGE BATTERY」とメッセージが表示されます。電池が完全に消耗したため、操作ができなくなります。

充電式の電池を使用する場合のご注意

- 本機では、充電式電池も使用できます。
- 充電池で満充電状態でも、本機に入れたときにバッテリー残量表示がフル状態を示さない場合があります。
- 充電器は常温で使用してください。
- 充電池電池および充電器は、以下の製品をご利用ください。
  –充電式ニッケル水素電池：NH-AA-4BF
  –ニッケル水素電池専用急速充電器：
  BCG-34HRES

電池の持続時間

乾電池の持続時間（ソニーアルカリ乾電池LR6（SG）を連続使用時）*

	リニアPCM		MP3
	96kHz 24bit	44kHz 16bit	128 kbps 44.1 kHz
再生	約20時間	約20時間	約26時間
録音（モニター時）	約12時間	約14時間	
録音（モニターなし）	約20時間	約24時間	

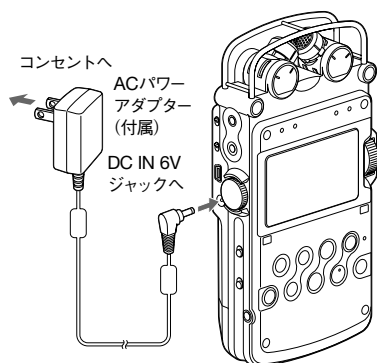
充電池の持続時間（ソニー充電式ニッケル水素電池NH-AAを連続使用時）*

	リニアPCM		MP3
	96kHz 24bit	44kHz 16bit	128 kbps 44.1 kHz
再生	約25時間	約25時間	約27時間
録音（モニター時）	約13時間	約15時間	
録音（モニターなし）	約20時間	約25時間	

* 常温での連続再生/録音時。LIMITERスイッチを「OFF」、メニューの「LED」を「OFF」に設定の上、内蔵メモリーに録音した場合。電池持続時間は使用条件によって短くなる場合があります。

次のページへ続く

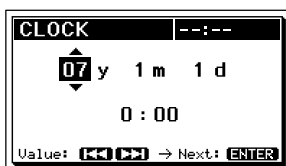
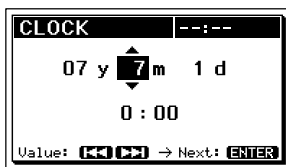
ACパワーアダプターを接続して使うには

付属のACパワーアダプターをDC IN 6Vジャックに接続します。

Information

表示窓に「ACCESSING MEMORY...」と表示されている間や、ACCESSランプが点滅している間は、メモリーへアクセス中です。アクセス中は、電池をはずしたり、ACパワーアダプターを抜いたり、USBケーブルを抜き差ししたりしないでください。データが破損する恐れがあります。

準備2：時計を合わせる

本機は、本体内時計の日時をもとに、録音した音声ファイル（トラック）の名前を付けます。あらかじめ、時計を合わせておくと、録音日時を正確に記録できます。

1 時計が設定されていない状態で電源を入れると、「SET CLOCK」と表示されます。約3秒後にメッセージが自動的に消え、メニューの「CLOCK」画面が表示されます。

2 ▶▶IFF/▲または I◀◀FR/▼ボタンで年（y）を合わせ、▶PLAY/ENTERボタンを押して決定します。

3 同様に、月（m）、日（d）、時、分を合わせます。
分を合わせて▶PLAY/ENTERボタンを押すと、時計が動き始めます。

時計を設定し直すときは

1 停止中に、🗀/MENUボタンを長押しして、メニュー画面を表示します。

2 ▶▶IFF/▲またはI◀◀FR/▼ボタンで「CLOCK」を選び、▶PLAY/ENTERボタンを押して決定します。「CLOCK」画面が表示されます。

3 ▶▶IFF/▲またはI◀◀FR/▼ボタンで日付(ymd)、または時刻(時分)を選び、▶PLAY/ENTERボタンを押して決定します。

4 「準備2:時計を合わせる」の手順2と3を行い、時計を合わせます。

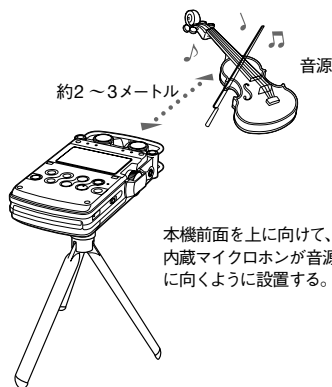
Information

電池を抜いたまま数週間放置すると、時計はお買い上げ時の設定に戻ります。この場合は、時計を設定し直してください。

録音前の準備

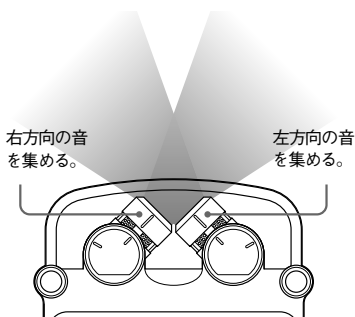
本機を設置するときは、内蔵マイクロホンが音源に向くように、マイクロホンの向きを調節します。
左右方向の音を正しく記録するには、本機の前面を上に向けて置いてください(下図参照)。
設置する位置やマイクロホンの向きは、音源や使用するマイクロホン、本機の設定などによって異なりますので、下図やマイクロホンの特性を参考に、いろいろな設置位置での録音をお試しになることをお奨めします。

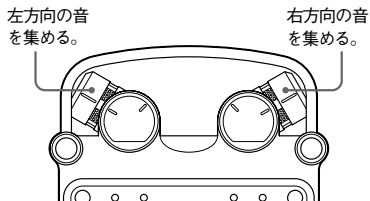
例:内蔵マイクロホンを使って楽器の演奏を録音する場合の設置

本体と音源の距離は約2 ～3メートルとることをお奨めします。内蔵マイクロホンの特性(右記)を考慮しながら、音源に対する本体の向きとマイクロホンの角度を調節してください。

内蔵マイクロホンの特性

内蔵マイクロホンは、単一指向性です。マイクロホンは、向きを変えることができます。

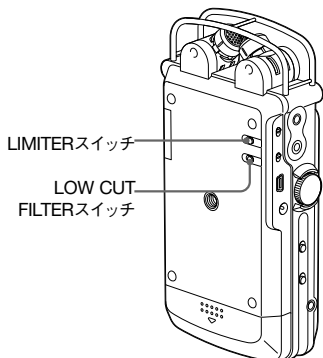
両方のマイクロホンを内側(90°の位置)に向けた場合(X-Yポジション)

右側に設置されたマイクロホンが左方向の音を、左側に設置されたマイクロホンが右方向の音を拾います。自然で奥行きのあるステレオ感が得られます。ソロ演奏や2 ～3人のセッションなど、近い距離での録音にお奨めです。
音源が極端にマイクロホンに近づきすぎると、左右逆に音声が入力されますのでご注意ください。

両方のマイクロホンを外側(120°の位置)に向けた場合(ワイド・ステレオポジション)

右側に設置されたマイクロホンが右方向の音を、左側に設置されたマイクロホンが左方向の音を拾います。広がりのあるステレオ感が得られます。
コーラスやオーケストラなど大人数の演奏をホールで録音するなど、音源から距離がある場合にお奨めです。

マイク入力の感度を切り換えるには

MIC ATTスイッチを切り換えます。
通常は「0」の位置に合わせておきます。大きい音を録音するときは、「20」の位置に合わせます。

音源に合わせた録音をするには

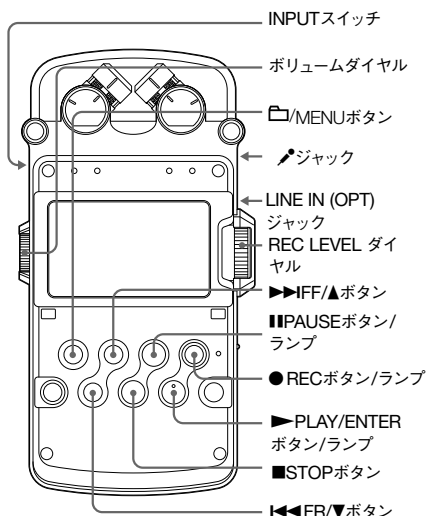
音源に合せて、LOW CUT FILTERスイッチとLIMITERスイッチの設定を変更できます。

- プロジェクターの風切り音などのノイズを低減するにはメニューで、「LCF」（ローカットフィルタ）を設定し、LOW CUT FILTERスイッチを「ON」に設定します。
- 突発的に大きな音の入力があった場合に音歪みを防ぐには、メニューで「LIMITER」を設定し、LIMITERスイッチを「ON」に設定します。

別売の三脚を使って設置するには

本体背面の三脚取り付け部に別売の三脚（VCT-PCM1）を取り付けると、本体や内蔵マイクロホンの角度をより正確に調節できます。また、手と本体の摩擦により発生しやすいノイズを防げます。

別売のウインドスクリーンを使うには

内蔵マイクロホンに別売のウインドスクリーン（AD-PCM1）をかぶせると、風や息が直接当たるときに発生する「ボコボコ」という雑音が軽減されます。

次のページへ続く⋯▶

アナログ入力の録音

内蔵マイクロホンや外部マイクロホンを使って録音したり、外部機器のライン出力からの信号を録音したりするときのように、アナログの音源を録音する場合です。

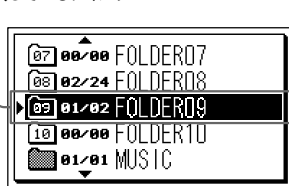
内蔵マイクロホンを使って録音する

ここでは、内蔵マイクロホンを使って、内蔵メモリーに録音する手順について説明します。
サンプリング周波数･量子化ビット数、録音先のメモリードライブを変更する場合は、メニュー画面から行います(41ページ)。お買い上げ時のサンプリング周波数･量子化ビット数は、44.10kHz 16bitに設定されています。

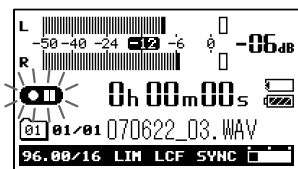
1 「録音前の準備」(22ページ)を参照して、内蔵マイクロホンや本体を設置します。

2 INPUTスイッチを「 」(マイクロホン)の位置に合わせます。

3 /MENUボタンを短く押します。
フォルダの選択画面が表示されます。

選択しているフォルダ

4 ▶▶IFF/▲またはI◀◀FR/▼ボタンで録音したファイルを保存したいフォルダを選び、►PLAY/ENTERボタンを押して決定します。
録音可能なフォルダは、[01]から[10]までの10フォルダです。

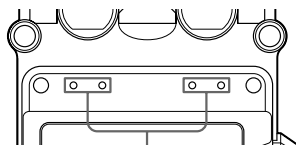
各フォルダ内にそれぞれ99トラックまで録音できます。

5 ●RECボタンを押します。
録音スタンバイ状態になり、表示窓に●II が点滅します。

6 REC LEVELダイヤルを前後に回して、表示窓を見ながら、録音レベルを調節します。
録音レベルは、ピークレベルランプと表示窓のピークメーターの両方で確認できます。
録音レベルは－12dBを目安に、音源に合った適切な範囲で調整してください。

表示窓のピークメーターで確認する場合

打楽器などの立ち上がりの早い音は、ピークメーターでレベルを確認してください。
最大ピーク値に OVER と表示されると、歪みが発生する場合があります。

ピークレベルランプで確認する場合

左右各チャンネルの入力信号のレベルに応じて、ランプが点灯します。
OVERランプが赤く点灯すると（録音レベルが－1dB以上のとき）、歪みが発生する場合があります。

ピークレベルランプ
-12dB（緑）： 歪まない録音レベル（－12 ～－1dB）です。
OVER（赤）： －1dB以上になっています。
録音レベルを下げてください。

ご注意

デジタル録音中は、ピークレベルランプは点灯しません。

7 録音をするには►PLAY/ENTERボタン（またはIIPAUSEボタン）を押します。
録音スタンバイ状態が解除され、録音が始まります。録音中は、表示窓に REC が点灯します。

録音レベルの調整をしないときは

手順5で、●RECボタンを押したまま►PLAY/ENTERボタンを押します。すぐに録音が始まります。

録音を一時停止するには

IIPAUSEボタンを押します。表示窓に●II が点滅します。もう一度押すと、一時停止が解除されます。
本機には、一時停止のタイムアウト機能がありませんので、録音を再開するときは、必ず解除を行ってください。

録音を停止するには

■STOPボタンを押します。

次のページへ続く…►

録音中にトラックを分割するには(DIVIDE)

録音中に、別のトラックとして録音を続けたい時点で、DIVIDEボタンを押します。録音中のトラックの次のトラックとして録音が継続します。新規録音時と同じように新しいトラック名が付きます。

ご注意

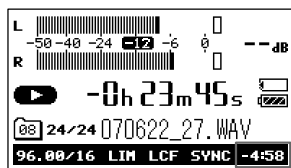
「REC MODE」の設定によっては、録音可能時間が数十秒残っていてもDIVIDE操作ができないことがあります。

録音可能残り時間の表示について

録音可能な残り時間が10分未満になると、表示窓のメモリー残量表示の位置に、残り時間が点滅表示されます。

録音可能な残り時間*

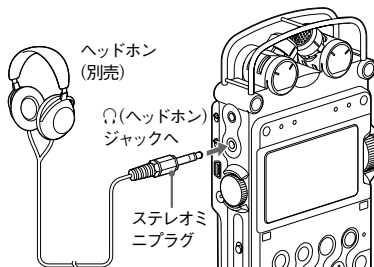
残り時間がなくなると、「MEMORY FULL」と表示され、録音が停止します。

* 録音可能な残り時間が10分以上あるときは、メモリー残量を示すアイコンが表示されます。メモリー未使用時は「100%」と表示されます。

Information

- 表示窓に REC が点灯中は、電池やACパワーアダプターを外さないでください。データが破損する恐れがあります。
- 停止状態のまま約10分間操作がないと、画面が消灯し、低消費電力モードになります。ただし、電力は少量でも消費されていますので、お使いにならない場合は電源をお切りください。
  なお、ACパワーアダプターご使用時には画面は消灯しません。
- 録音中、本機に手などがあたったり、こすったりすると雑音が録音されてしまうことがありますので、ご注意ください。
- 録音中に、本機にUSBケーブルを接続しないでください。接続すると、パソコンとの通信を優先するため、録音が停止します。
- サンプリング周波数を96kHzにして録音するときは、事前にメモリーをフォーマットすることをお奨めします。効率よくデータを書き込むことができます。
- 録音中にトラックのファイルサイズが2GBを超えた場合は、新たなトラックとして録音されます。

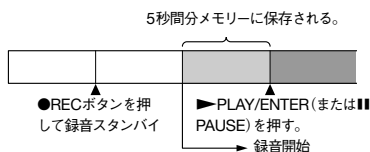
録音中の音を聞く(録音モニター)

別売のヘッドホンやイヤホンを本機の🎧(ヘッドホン)ジャックに接続すると、録音中の音をモニターできます。モニター音は、ボリュームダイヤルで調節できます。

録音される音量に影響はありません。

Information

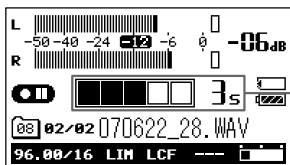
- 録音モニター中に音量を上げすぎたり、ヘッドホンを本体に近づけすぎたりすると、ヘッドホンの音をマイクロホンが拾い、ピーッという音(ハウリング)が生じることがあります。
- 録音モニターには、音漏れの少ない密閉型ヘッドホンを使用することをお奨めします。

録音開始の少し前から録音する（プリレコーディング）

録音を開始した時点の約5秒前の音から録音を開始することができます。

1 停止中に🗀/MENUボタンを長押しして、メニュー画面を表示します。

2 ►►❙FF/▲または❙◄◄FR/▼ボタンで「PRE REC」（プリレコーディング）を選び、►PLAY/ENTERボタンを押して決定します。
「PRE REC」画面が表示されます。

3 ►►❙FF/▲または❙◄◄FR/▼ボタンで「ON」を選び、►PLAY/ENTERボタンを押して決定します。

4 「内蔵マイクロホンを使って録音する」（24ページ）の手順2から5を行い、録音の準備をします。
録音スタンバイ状態になり、表示窓に●❚❚ が点滅します。最新の約5秒間分の音声がメモリーに一時保存されます。

保存される秒数

5 録音をするには►PLAY/ENTERボタン（または❚❚PAUSEボタン）を押します。
録音スタンバイ状態が解除され、録音が始まります。録音を開始した時点よりも5秒前の音から録音します。

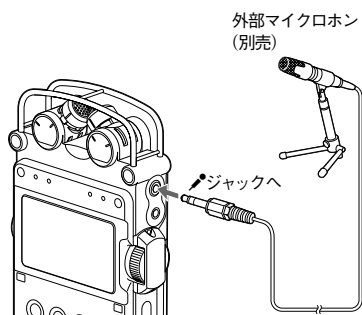
Information

- 録音可能残り時間が10秒未満のときにはプリレコーディングはできません。
- デジタル録音時は、プリレコーディングはできません。
- 手順4から手順5までの時間が5秒以上経過していないときは、その時間分しかプリレコーディングは行われません。

次のページへ続く…►

外部マイクロホンを使う

別売の外部マイクロホンを本機に接続して録音します。

1 外部マイクロホンを本機の （マイクロホン）ジャックに接続し、マイクロホンの設置位置を調節します。マイクロホンの特性については、マイクロホンに付属の取扱説明書をご覧ください。

停止中に外部マイクロホンを本機の ジャックに接続すると「PLUG IN PWR」設定画面が表示されます。プラグインパワー対応のマイクロホンをご使用の場合は「ON」を選びます。「OFF」を選んだ場合は、プラグインパワー機能は働きません。

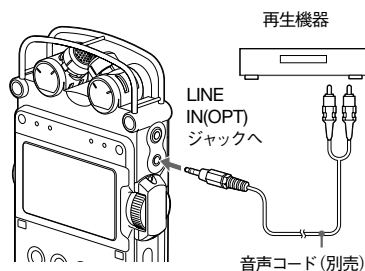
2 「内蔵マイクロホンを使って録音する」（24ページ）の手順1から7を行い、録音を始めます。

Information

- ジャックに外部マイクロホンを接続しているときは、内蔵マイクロホンでの録音はできません。
- メニューの「PLUG IN PWR」が「ON」に設定されていると、本機からプラグインパワー対応マイクロホンに電源を供給します。

外部機器から録音する（ライン入力）

CDプレーヤー、MDプレーヤー、DATプレーヤーなどの外部機器で再生した音源を録音します。

1 外部機器の音声出力端子と本機のLINE IN（OPT）ジャックを、別売の音声コードを使って接続します。

2 INPUTスイッチを「LINE」の位置に合わせます。

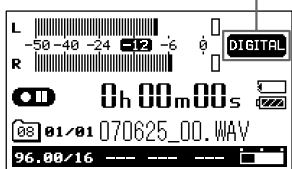
3 「内蔵マイクロホンを使って録音する」（24ページ）の手順3から7を行います。

4 外部機器の再生を始めます。

5 録音を開始したいところで、►PLAY/ENTERボタン（または❚❚PAUSEボタン）を押します。
録音スタンバイ状態が解除され、録音が始まります。

デジタル録音

CDプレーヤーやMDプレーヤー、DATプレーヤーなどのデジタル機器からのデジタル信号を録音する場合です。

デジタル信号が入力されたとき

本機が対応するデジタル録音

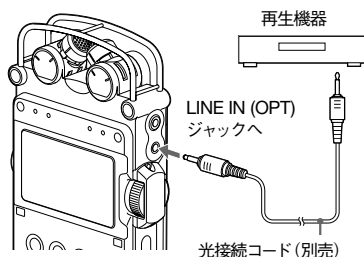
本機のLINE IN (OPT)ジャックにCD/MD/DATプレーヤーなどのデジタル機器が接続された場合、以下のデジタル信号に対応します。対応していない信号の入力があったときは「UNKNOWN DATA」が表示されます。

- リニアPCM 44.1/48.0/96 kHzデジタル信号
- 著作権付きのデジタル入力(SCMS)は録音できません。「NO DIGITAL COPY」と表示されます。ご使用の機器によっては、著作権付きのデジタル信号を出力する場合があります。例えば、著作権付きで録音したMDやDATなどのメディアは、著作権付きのデジタル信号を出力するため、本機では録音できません。
- サンプルワード長が16ビット以下または不定な場合は16ビットで、それ以外は24ビットで録音します。

Information

- デジタル入力録音時には、本機の機能のうち、次の機能は使えません。
  録音レベルの設定/MIC ATTスイッチ/LIMITERスイッチ/録音モードの設定/LCF設定/SBM設定/プリレコーディング
- 録音可能時間が残り10秒に満たない場合、デジタル録音はできない場合があります。

外部機器からデジタル信号を録音する

1. 外部機器の音声出力端子と本機のLINE IN (OPT)ジャックを、別売の光接続コードを使って接続します。

2. INPUTスイッチを「LINE」の位置に合わせます。
3. 停止中に、🗀/MENUボタンを長押しして、メニュー画面を表示します。
4. ▶▶IFF/▲または I◀◀FR/▼ボタンで「SYNC REC」を選び、▶PLAY/ENTERボタンを押して決定します。
   「SYNC REC」画面が表示されます。
5. ▶▶IFF/▲または I◀◀FR/▼ボタンで「OFF」を選び、▶PLAY/ENTERボタンを押して決定します。
6. 「内蔵マイクロホンを使って録音する」(24ページ)の手順3から6を行います。
7. 外部機器の再生を始めます。
8. 録音を開始したいところで、▶PLAY/ENTERボタンを押します。
   録音スタンバイ状態が解除され、録音が始まります。

Information

- 録音中に一時停止やトラックの分割の操作ができます。
- 外部機器のトラック情報によって自動的に録音を開始するには「再生に同期して録音を開始する(デジタルシンクロ録音)」(30ページ)をご覧ください。

次のページへ続く…▶

再生に同期して録音を開始する（デジタルシンクロ録音）

一部のCD/MD/DATポータブルデジタル機器（再生していないときにデジタル信号が出力されない機器）では、機器からの信号によって、自動的に録音を開始することができます。（デジタルシンクロ録音）

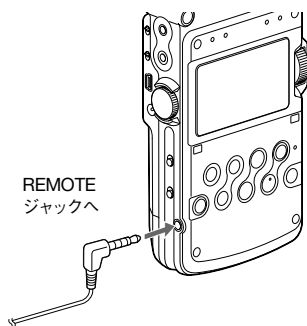
1. 外部デジタル機器の音声出力端子と本機のLINE IN（OPT）ジャックを、別売の光接続コードを使って接続します。
2. INPUTスイッチを「LINE」の位置に合わせます。
3. 停止中に、🗀/MENUボタンを長押しして、メニュー画面を表示します。
4. ▶▶IFF/▲または I◀◀FR/▼ボタンで「SYNC REC」を選び、▶PLAY/ENTERボタンを押して決定します。「SYNC REC」画面が表示されます。
5. ▶▶IFF/▲または I◀◀FR/▼ボタンで「ON」を選び、▶PLAY/ENTERボタンを押して決定します。
6. 「内蔵マイクロホンを使って録音する」（24ページ）の手順3から5を行い、録音の準備をします。
7. 外部機器の再生を始めます。
   外部機器からのトラック情報により、自動的に録音を開始します。再生側の信号のトラックがきりかわると、自動的に新しいトラックとして録音されます。

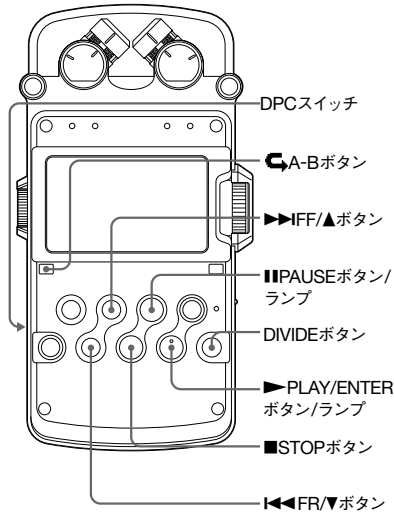
Information

- 異なったデジタル入力信号の場合は、同じトラックに録音できないため、新しいトラックとして録音されます。
- デジタル録音時、まれにカウンターが実際の録音よりも1秒程遅れて表示される場合があります。
- CD/MD/DATプレーヤーからデジタル録音した場合、ソースデータの種類またはご使用方法によっては、正しくシンクロ録音ができない場合があります。
- すべてのCD/MD/DATプレーヤーでの動作を保証するものではありません。ご使用の外部機器によっては正常に動作しない場合があります。
- 録音可能時間が残り10秒に満たない場合は、デジタルシンクロ録音はでない場合があります。
- フォルダ内のトラックが99トラック目の場合はデジタルシンクロ録音機能は働かず、99トラック目として録音を継続します。

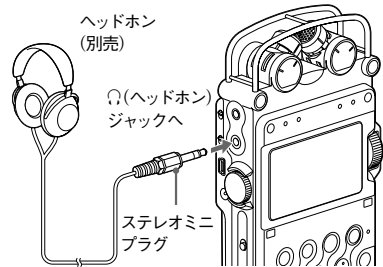
リモートコマンダーを使って録音する

別売のリモートコマンダー（RM-PCM1）を使って、リモートコマンダーから録音操作ができます。

1. REMOTEジャックに、別売のリモートコマンダーを接続します。

2. リモートコマンダーのボタンを操作して録音、録音一時停止、停止、分割などの操作を行います。

録音後の操作

録音した音声（トラック）を再生する

再生するメモリーおよびフォルダを変更する場合は、メニュー画面から行います（41ページ）。

1 別売のヘッドホンまたはイヤホンを本機の（ヘッドホン）ジャックに接続します。

2 ►PLAY/ENTERボタンを押します。

フォルダ内の最初のトラック、または前回再生を停止した場所から再生が始まります。

表示窓に▶が点灯します。フォルダ内の最後のトラックまで、トラックの番号順に再生します。

フォルダを切り替えるには

1 /MENUボタンを短く押します。

フォルダの選択画面が表示されます。

2 ▶▶IFF/▲またはI◀◀FR/▼ボタンで再生したいトラックが保存されたフォルダを選び、►PLAY/ENTERボタンを押して決定します。

次のページへ続く…▶

メモリー（ドライブ）を切り替えるには

本機は、内蔵のメモリーのほかに、「メモリースティック」にも対応しています。メモリーは次のように切り替えます。なお、「メモリースティック」を本機に入れるときは、再生や録音などの機能が動作していないことを確認してください

1 停止中に、🗀/MENUボタンを長押しして、メニュー画面を表示します。

2 ▶▶IFF/▲またはI◀◀FR/▼ボタンで「MEMORY」を選び、▶PLAY/ENTERボタンを押します。
メモリー選択画面が表示されます。

3 ▶▶IFF/▲またはI◀◀FR/▼ボタンで使用したいメモリーを選び、▶PLAY/ENTERボタンを押します。

再生中のいろいろな操作

目的	操作
再生を停止する	■STOPボタンを押します。
再生を一時停止する	II PAUSEボタンを押します。表示窓に●II が点滅します。もう1度押すと、再び再生が始まります。
早送り再生する（キュー）	▶▶IFF/▲ボタンを押したままにします。*
早戻し再生する(レビュー)	I◀◀FR/▼ボタンを押したままにします。*
再生中のトラックを頭出しする	I◀◀FR/▼ボタンを短く1回押します。
再生中の前のトラックを頭出しする	I◀◀FR/▼ボタンを短く繰り返し押します。**
再生中の次のトラックを頭出しする	▶▶IFF/▲ボタンを短く1回押します。**
さらに次のトラックを頭出しする	▶▶IFF/▲ボタンを短く繰り返し押します。

＊ ボタンを押し続けると、最初は少しずつ早送り、早戻しされます。しばらくそのままにすると段階的に高速で早送り、早戻しされます。

＊＊メニューで「EASY SEARCH」が「OFF」に設定されている場合の動作です。

最後のトラックの終わりまで再生または早送りすると

- フォルダの最後のトラックの終わりまで来ると、「TRACK END」表示が5秒点灯します。
「TRACK END」が消えると、フォルダの最後のトラックの頭に戻って止まります。
- 「TRACK END」の点灯中にI◀◀FR/▼ボタンを押したままにすると、早戻しされ、離したところから再生が始まります。
- 最後のトラックが長時間のトラックの場合で、トラック中の後ろの方を探して再生したい場合は、▶▶IFF/▲ボタンを押し続けていったんトラックの最後まで早送りして、「TRACK END」表示の点灯中にI◀◀FR/▼ボタンを押して聞きたいところまで早戻しして探すと便利です。
- 最後のトラック以外の場合は、次のトラックの頭に送ってから再生中に早戻しすると素早く探せます。

Information

- 再生中は、電池やACパワーアダプターを外さないでください。LINE OUT（OPT）ジャックや🎧（ヘッドホン）ジャックから出力される音声に、ノイズが出る場合があります。

MP3ファイルを再生する

パソコンなどからMP3ファイルを本機にコピーし、再生することができます。詳しくは、39ページをご覧ください。

聞きたいところをすばやく探す（イージーサーチ機能）

メニューの中で「EASY SEARCH」（イージーサーチ）を「ON」に設定しておくと、再生中に▶▶IFF/▲、またはI◀◀FR/▼ボタンを何度か押して聞きたいところまで早送り、早戻しをして聞くことができます。I◀◀FR/▼ボタンを1回押すごとに約3秒前、▶▶IFF/▲ボタンを1回押すごとに約10秒先を再生します。聞きたいところをすばやく探すのに便利です。

再生速度を調節する（DPC（デジタル・ピッチ・コントロール機能））

再生速度を通常の＋100％から–75％の間で調節できます。その際、音程はデジタル処理により、自然に近いレベルで再生します。

1 停止中に、🗀/MENUボタンを長押しして、メニュー画面を表示します。

2 ▶▶IFF/▲またはI◀◀FR/▼ボタンで「DPC」を選び、▶PLAY/ENTERボタンを押します。
「DPC」画面が表示されます。

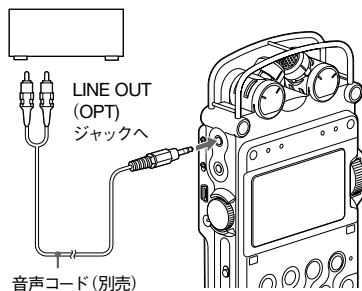
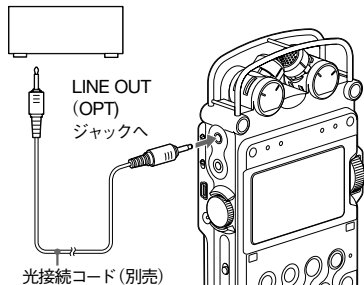
3 ▶▶IFF/▲またはI◀◀FR/▼ボタンで再生速度を＋100％から–75％の間で設定し、▶PLAY/ENTERボタンを押して決定し、🗀/MENUボタンを押して、メニュー画面を終了します。

4 DPCスイッチを「ON」にします。
通常の再生速度に戻すにはDPCスイッチを「OFF」にします。

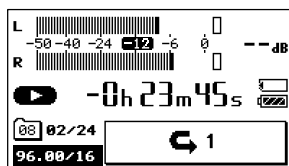
次のページへ続く…▶

外部機器に接続して再生する

録音したトラックを外部機器のスピーカーから出力して聞くには、外部機器の音声入力端子またはデジタル入力端子と本機のLINE OUT (OPT)ジャックを、別売の音声コードまたは光接続コードを使って接続します。

アナログ機器に接続する場合

デジタル機器に接続する場合

繰り返し再生する

トラックを繰り返し再生する（1件リピート）

1 再生中に►PLAY/ENTERボタンを長押しします。
画面に1件リピートマーク（ 1）が表示され、トラックが繰り返し再生されます。

リピート再生を中止するには

通常の再生に戻すには、►PLAY/ENTERボタンを押します。現在の位置で停止するには、■STOPボタンを押します。

必要な部分だけを再生する（ A-Bリピート)

1 再生中にA-Bボタンを短く押して、A点を指定します。
「A-B B?」が表示されます。

2 もう一度A-Bボタンを短く押して、B点を指定します。
「A-B」が表示されて、指定した区間が繰り返し再生されます。
A-Bリピート再生中も、再生中の操作（32ページ）は、停止を除いて可能です。

A-Bリピート再生を止めるには

通常の再生に戻すには、►PLAY/ENTERボタンを押します。現在の位置で停止するには、■STOPボタンを押します。

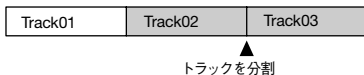
トラックを分割する（DIVIDE）

録音したトラックを分割できます。分割したトラックは、本機では結合（コンバイン）できません。

1 再生中に、DIVIDEボタンを押します。
「DIVIDE?」が表示されます。

2 DIVIDEボタンを押します。
ボタンを押した位置でトラックが分割され、表示窓に「DIVIDING...」と表示されます。

Track01	Track02	Track03

▲ トラックを分割

Information

- 分割したトラックには、以下のようにトラック名が付きます。
  - 分割元のトラック名には「_0」が付き、分割先のトラック名には「_1」が付きます。ただし、分割前のトラック名が8バイト未満の場合、「_」が追加され、10バイトのファイル名になります。例えば、「123.WAV」を分割すると、「123______0.WAV」と「123______1.WAV」になります。
- 以下の場合、分割操作はできません。
  - トラックの開始/終了箇所から0.5秒未満の位置で操作する場合
  - フォルダ内の最大トラック数に達した場合（表示窓に「TRACK FULL」と表示されます。（53ページ）
  - 新しいトラック名が最大文字数を超える場合
- MP3ファイルは分割できません。
- 分割後のファイル名と同じ名前のファイルが同じフォルダにある場合は、分割できません。

トラックを消去する（DELETE）

1件ずつ消去する

1 消去したいトラックを再生中または停止中に、🗀/MENUボタンを長押しして、メニュー画面を表示します。

2 ▶▶|FF/▲または|◀◀FR/▼ボタンで「DELETE TRK」を選び、▶PLAY/ENTERボタンを押します。
トラックの消去画面が表示されます。

3 ▶▶|FF/▲または|◀◀FR/▼ボタンで「YES」を選び、▶PLAY/ENTERボタンを押します。
トラックが削除され、以降のトラック番号が繰り上がります。

フォルダの中身を一度に消去する

1 消去したいフォルダを選び、停止中に、🗀/MENUボタンを長押しして、メニュー画面を表示します。

2 ▶▶|FF/▲または|◀◀FR/▼ボタンで「DELETE ALL」を選び、▶PLAY/ENTERボタンを押します。
消去画面が表示されます。

3 ▶▶|FF/▲または|◀◀FR/▼ボタンで「YES」を選び、▶PLAY/ENTERボタンを押します。
フォルダ内のトラックがすべて削除されます。

Information

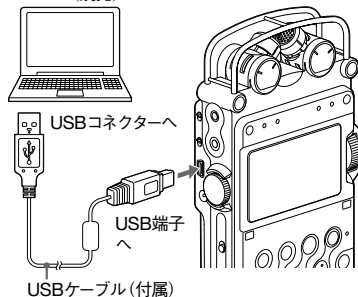
一度消去したトラックは元に戻りません。

次のページへ続く…▶

トラックをパソコンに保存する

本機をパソコンに接続して、録音したトラックをパソコンのハードディスクに保存します。

1 本機の電源を入れます。

2 付属のUSBケーブルを使って、本機とパソコンのUSB端子を接続します。
本機に「CONNECTING」と表示され、パソコン上でUSBマスストレージクラスデバイスとして認識されます。
パソコンと接続している間は、本機を操作できません。
USB接続中は常に「DO NOT POWER OFF」と表示されます。USB接続中は電源を抜いたりPOWERスイッチを「OFF」にしたりしないでください。USB接続が強制的に終了し、データが壊れてしまいます。

Information

- 本機や本機で使う「メモリースティック」はパソコンでフォーマットしないでください。

3 WindowsエクスプローラまたはMacintosh デスクトップに、リムーバブル ディスクとして本機が表示されます。ハードディスクに保存したいトラックのファイルを、ドラッグアンドドロップでパソコンのハードディスク上にコピーします。

本機との接続に必要なパソコンの環境[1)]

- OS*
  Windows Vista® Home Basic
  Windows Vista® Home Premium
  Windows Vista® Business
  Windows Vista® Ultimate
  Windows® XP Home Edition Service Pack 2以降
  Windows® XP Professional Service Pack 2以降
  Windows®XP Media Center Edition 2004 Service Pack 2以降
  Windows® XP Media Center Edition 2005 Service Pack 2以降
  Windows® 2000 Professional Service Pack 4以降
  Mac OS X (v10.2.8-v10.5)
  標準インストール（日本語版のみ）
  * 上記以外のOSは動作保証いたしません。
  * 64bit版のOSには対応しておりません。
  * Mac OSのスリープモードには対応していません。
- 以下の性能を満たしたWindowsコンピューターまたはMacintosh
  －USBポート

1) 録音したWAVファイルをUSB接続でコンピューターに保存する際の動作環境です。

Information

- 付属のソフトウェア"SonicStage Mastering Studio Recorder Edition"の対応OSは、Windows Vista® Home Basic / Windows Vista® Home Premium / Windows Vista® Business / Windows Vista® Ultimate / Windows® XP Home Edition (SP2以降) / Windows® XP Professional (SP2以降) / Windows® XP Media Center Edition 2004 (SP2以降) / Windows® XP Media Center Edition 2005 (SP2以降) です。詳細は同梱の「SonicStage Mastering Studio Recorder Editionのご案内」をご覧ください。
- 推奨環境すべてのパソコンについて、システムサスペンド、スリープ（スタンバイ状態）、ハイバネーション（休止状態）などの動作を保証するものではありません。また、自作パソコン等へお客様自身がインストールしたものや、NEC PC-98シリーズとその互換機、アップグレードしたもの、マルチブート環境、マルチモニタ環境での動作保証はいたしません。
- Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Mediaは米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標または商標です。
- MacintoshおよびMac OSは米国その他の国で登録されたApple Inc. の商標です。

Windows 2000をお使いの場合

ドライバのインストールを行う必要があります。

1 付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れます。

2 付属ソフトウェアのインストール画面が表示されたら、インストール画面を閉じます。

3 エクスプローラを使って、CD-ROMドライブから、「¥Driver¥SonyRecorder_Driver.exe」を実行します。

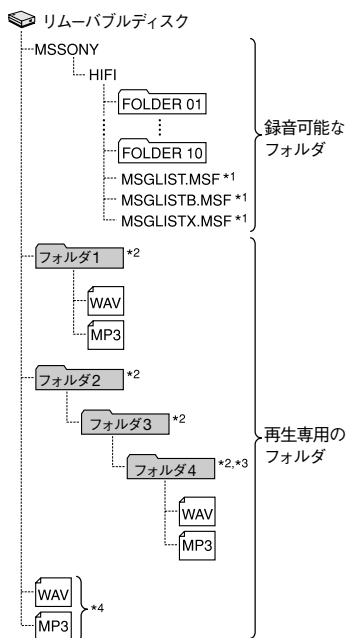
4 画面の指示にしたがって、ドライバをインストールします。

次のページへ続く…▶

フォルダとトラックのファイル構成について

パソコンの画面で見ると下図のように表示されます。フォルダの違いは、本機の表示窓に表示されるフォルダ表示で区別できます。

□:本機で録音/再生可能なフォルダ（お買い上げ時に作成されています。）

▩:再生専用のフォルダ（パソコンなどでMP3ファイルやWAVファイルを転送したときに表示されます。）

*1 フォルダの順番や音声ファイルの再生順序、録音日時などの情報が含まれるファイルです。削除、変更しないでください。

*2 ファイルが保存されたフォルダ名は本機にコピーしたときも同じフォルダ名として表示されます。管理しやすいフォルダ名にしておくと便利です。

*3 ファイルを認識できるのは、リムーバブルディスクに作成したフォルダの3階層目までとなります。図の中の「フォルダ4」までが本機で認識されます。

*4 ファイルを単独でコピーすると「未分類」のフォルダとして扱われます。

認識可能なフォルダ・ファイルについて

□:本機で録音/再生可能なフォルダ

1フォルダ内99件までのトラック、各ドライブで10フォルダ、990トラックまで認識できます。

▩:再生専用のフォルダ

1フォルダ内99件までのトラック、各ドライブで500フォルダ、5000トラックまで認識できます。ただし、トラックの保存されていないフォルダは認識できません。

フォルダ名についてのご注意

□フォルダ(「FOLDER 01」から「FOLDER 10」のフォルダ)を削除したりフォルダ名を変更したりしないでください。削除・変更すると、フォルダが本機に認識されなくなります。

MP3ファイルのタイトル、アーティスト情報について

MP3ファイルには、タイトル名やアーティスト名などの情報をID3-TAG情報として登録することができます。本機ではID3-TAG情報を表示することができますので、MP3ファイルを作成するソフトやパソコンでID3-TAG情報を入力しておくと便利です。

Information

ID3-TAG情報にタイトル名またはアーティスト名が登録されていない場合は、「Unknown」と表示されます。

パソコンからコピーしたファイルを本機で再生する

パソコンにある MP3ファイルを本機にコピーして再生することができます。

MP3ファイルを本機で再生する場合の最大再生時間(曲数*)は下記のようになります。(内蔵メモリー使用時)

128 kbps	256 kbps
71時間20分(1,070曲)	35時間40分(535曲)

* 1曲4分を転送した場合

1 本機をパソコンに接続します。

- Windowsでは、「マイコンピューター」を開き、リムーバブルディスクが新しく認識されているかを確認してください。
- Macintoshでは、デスクトップに「PCMRECORDER」、「MEMORYSTICK」という名前のドライブが表示されているかを確認してください。

ご注意

「MEMORYSTICK」表示は、本体に「メモリースティック」が入っている場合にだけ表示されます。

2 パソコン内のMP3ファイルが入っているフォルダを本機にコピーします。

Windowsではエクスプローラを使って、Macintoshではデスクトップ上で、MP3ファイルが入っているフォルダを本機にドラッグアンドドロップします。

次のページへ続く……▶

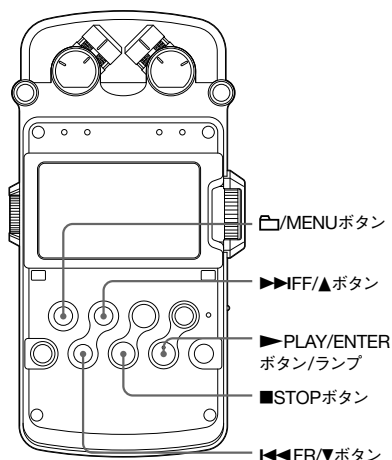
最大500個のフォルダまで認識できます。
1個のフォルダには最大99トラックを、また
フォルダ全体では最大5000トラックまで入れ
ることができます。

3 本機をパソコンからとりはずした後、本機の🗀/MENUボタンを押し、▶▶IFF/▲またはI◀◀FR/▼ボタンを押してフォルダを選び、▶PLAY/ENTERボタンを押します。

4 ▶▶IFF/▲またはI◀◀FR/▼ボタンを押して再生したいファイルを選びます。

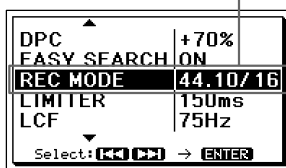
5 ▶PLAY/ENTERボタンを押して再生を始めます。

6 再生をとめるには、■STOPボタンを押します。

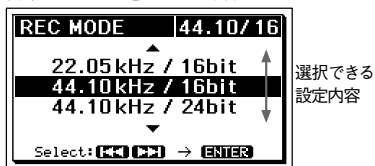
メニュー操作

メニューを使う

各種調整および設定をメニュー画面で行います。

1 /MENUボタンを1秒以上押します。

メニュー画面が表示されます。現在選択されている項目と設定内容が中央に反転して表示されます。

2 ▶▶IFF/▲またはI◀◀FR/▼ボタンを押して項目を選び、▶PLAY/ENTERボタンを押して決定します。

選んだ項目の設定画面が表示されます。

例:「REC MODE」を選んだ場合

3 ▶▶IFF/▲またはI◀◀FR/▼ボタンを押して設定内容や操作を選び、▶PLAY/ENTERボタンを押して決定します。

選んだ内容や操作が決定/実行され、メニュー画面に戻ります。

メニュー画面を閉じるには

■STOPボタンを押します。

一つ前のメニュー操作画面に戻るには

/MENUボタンを押します。

次のページへ続く····▶

メニュー項目一覧

停止中は、下記の設定項目すべてが表示されます。録音/録音スタンバイ/録音一時停止中は「LIMITER」、および「LCF」のみ、再生/再生一時停止中は「DELETE TRK」、「DPC」、および「EASY SEARCH」のみ表示されます。デジタル録音時はメニュー操作はできません。

設定項目	設定内容(下線:お買い上げ時の設定)
LED (ランプ点灯)	ACCESSランプ、ピークレベルランプ、●RECランプ、►PLAY/ENTERランプ、❚❚PAUSEランプが点灯/点滅して、本機の動作状態を示します。 ON　ランプが点灯/点滅します。 OFF　ランプは点灯/点滅しません。
CLOCK (日時設定)	時計を設定します。 設定方法について詳しくは、20ページをご覧ください。
MEMORY [1] (録音/再生先メモリー)	録音したトラックを保存するメモリー、または再生するトラックが保存されているメモリーを選びます。 BUILT-IN　本体の内蔵メモリーを使用します。 MEMORY STICK　別売の「メモリースティック」を使用します。 **Information** • 「メモリースティック」を取り出すと、「BUILT-IN」の設定に戻ります。
FORMAT [2,5] (メモリー初期化)	「MEMORY」で選んでいる使用中のメモリー内のすべてのデータを削除し、フォルダ構成(38ページ)を初期状態に戻します。 使用中のメモリーが内蔵メモリーか、「メモリースティック」かを確認してから、「YES」を選んでください。本機や本機で使う「メモリースティック」はパソコンでフォーマットしないでください。
DELETE ALL [2,4,5] (フォルダ内全トラック削除)	選択されたフォルダ内のトラックをすべて削除します。 削除するフォルダ名を確認してから、「YES」を選んでください。 フォルダとトラックファイル構成について詳しくは、38ページをご覧ください。
DELETE TRK [3,4,5] (トラック削除)	選択されたトラックをひとつ削除します。 削除するトラック名を確認してから、「YES」を選んでください。 フォルダとトラックファイル構成について詳しくは、38ページをご覧ください。

1) 本機に別売の「メモリースティック」が挿入されていない場合は、設定を実行できません。
2) 電池残量が少ない場合は、実行できません。
3) トラックのファイルが読み取り専用に設定されている場合は、実行できません。
4) フォルダ内にトラックが保存されていない場合は、実行できません。
5) 一度消去したデータは元には戻りません。ご注意ください。

設定項目	設定内容（下線：お買い上げ時の設定）
DPC （Digital Pitch Control機能）	DPC（Digital Pitch Control）の設定をします。 DPCスイッチを「ON」にした場合に有効です。再生速度を、＋100%から－75%の範囲で調節をします。＋設定では「＋10」刻みで、－設定では「－5」刻みで設定されます。 （－30%）
EASY SEARCH （イージーサーチ機能）	イージーサーチを設定します。 OFF　イージーサーチ機能が働きません。▶▶IFF/▲またはI◀◀FR/▼ボタンを押すと、トラックが送られます。 ON　再生中、▶▶IFF/▲ボタンを押すと、約10秒進め、I◀◀FR/▼ボタンを押すと、約3秒戻ります。
REC MODE [6)7)] （サンプリング周波数・量子化ビット数）	録音する音声のサンプリング周波数と量子化ビット数を選択します。 22.05kHz/16bit　長時間録音できます。 44.10kHz/16bit　お買い上げ時の設定です。 44.10kHz/24bit 48.00kHz/16bit 48.00kHz/24bit　↓より高音質で録音できます。 96.00kHz/16bit 96.00kHz/24bit **Information** • サンプリング周波数とは、アナログ信号からデジタル信号への変換（A/D変換）を1秒間に何回行うかを表す数値です。数値が高いほど音質は向上し、データ量が増えます。44.1kHzでCD相当、48kHzでDAT相当、96kHzでDVD Audio相当の音質が得られます。 • 量子化ビット数とは、1秒間の音声に与えるデータ容量を表す数値です。数値が高いほど多くのデータ容量が与えられ、音質が向上します。

6) 本機で24bitの量子化ビット数で録音したトラックを使って、パソコンでの再生や編集を楽しみたいときは、24bit対応のソフトウェアが必要です。

7) デジタル録音時はこの機能は働きません。

次のページへ続く····▶

設定項目	設定内容（下線：お買い上げ時の設定）
LIMITER[7] （歪み防止）	本機では、通常の回路で処理される音に対して、デジタルリミッター用で常に12dB低い音を確保しています。これにより、音声が過入力された際に起こるデジタル処理時のクリッピングを補完し、歪みを防ぎます。LIMITERスイッチが「ON」のとき、デジタルリミッター回路が働きます。ここでは、リカバリーまでの時間を設定します。 150ms　約150msでデジタルリミッター回路からリカバーします。 1sec　約1秒でデジタルリミッター回路からリカバーします。 1min　約1分でデジタルリミッター回路からリカバーします。 **Information** • リミッター回路とは、信号レベルを最大入力レベル以下に調整するための回路です。突然大きな音が入力された場合でも、音の過大な部分を最大入力レベルの範囲内で最適なレベルに自動設定し、ノイズを抑えます。 • 本機のリミッター回路は、12dB以上の音声入力には対応していません。12dB以上過入力されると、音が歪むことがあります。 • 「ON」に設定した場合、表示窓の最大ピーク値が0dBを超えると、リミッターが動作している状態でのピーク値が表示されます。
LCF[7] （Low Cut Filter機能）	LOW CUT FILTERスイッチを「ON」にした場合、ローカットフィルターが働き、以下の周波数の音声にフィルターをかけて、録音しません。空調設備や屋外での風切音などによるノイズを軽減します。 75Hz　75Hz以下の周波数の音声を録音しません。 150Hz　150Hz以下の周波数の音声を録音しません。
SBM [7][8] （Super Bit Mapping機能）	Super Bit Mapping機能を使って、「REC MODE」で量子化ビット数が16bitの設定をしている場合のノイズを軽減します。 ON　Super Bit Mapping機能が働き、ノイズを軽減します。 OFF　Super Bit Mapping機能は働きません。 **Information** • Super Bit Mappingとは、人間の可聴帯域内でも特に耳につきやすいノイズを減らすことで、聴覚上のダイナミックレンジを飛躍的に拡大する機能です。20bitのデータを16bitに変換するとき、従来は捨て去られる下位データの中の上位4bit分の情報量を16bitの中に織り込むことで、音質の向上を実現します。

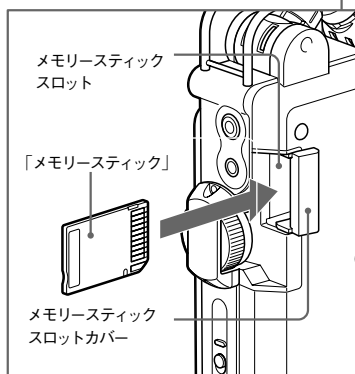
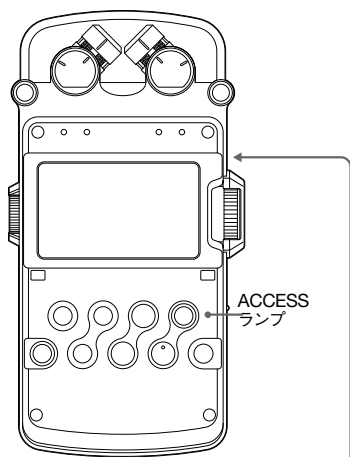
7) デジタル録音時はこの機能は働きません。

8)「REC MODE」で量子化ビット数を24bitに設定している場合は、この機能は働きません。

設定項目	設定内容（下線：お買い上げ時の設定）
PRE REC [7] （プリレコーディング機能）	●RECボタンを押して録音スタンバイにすると、約5秒間分の音声をバッファに記録し、►PLAY/ENTER（または❚❚PAUSE）ボタンを押して録音を開始すると、約5秒前から録音を開始する機能です。 ON　プリレコーディング機能が有効になります。録音を開始すると、ボタンを押した時点の5秒前から録音を開始します。 OFF　プリレコーディング機能は無効になります。録音を開始すると、ボタンを押した時点から録音を開始します。
SYNC REC [9]（シンクロ録音機能）	本機のLINE IN（OPT）ジャックにデジタル機器を接続してデジタル録音時、外部機器の再生信号と同時に録音を開始するシンクロ録音を有効、無効に設定します。 ON　シンクロ録音機能が有効になります。 OFF　シンクロ録音機能は無効になります。録音を開始するには、通常のように●RECボタンと、►PLAY/ENTER（または❚❚PAUSE）ボタンを押します。
PLUG IN PWR（プラグインパワー機能）	本機の 🎤ジャックにプラグインパワー対応のマイクロホンを接続した場合、マイクロホンの電源を本機から供給するプラグインパワー機能を有効、無効に設定します。 ON　プラグインパワー機能が有効になります。 OFF　プラグインパワー機能は無効になります。

7) デジタル録音時はこの機能は働きません。

9) アナログ入力の録音時はこの機能は働きません。

別売「メモリースティック」の使いかた

本機では、内蔵メモリーの他に、別売の「メモリースティック」を使って音声を記録できます。
本機で使用できる「メモリースティック」は、「メモリースティック PRO-HGデュオ」と「メモリースティック PRO デュオ（High Speed）」のみです。
その他の「メモリースティック」での動作は保証しませんので、ご注意ください。

「メモリースティック」を入れる

録音する前に、「メモリースティック」に保存されているデータをパソコンに保存し、本機でフォーマットして空の状態にしてからお使いください。

1. メモリースティックスロットのカバーを開けます。
2. 左図の向きで、「メモリースティック」をメモリースティックスロットにカチッと音がするまで奥までしっかり差し込み、カバーを閉めます。

「メモリースティック」を使用するには

メニューの「MEMORY」で「MEMORY STICK」を選んでください。

「メモリースティック」を初めて入れると

表示窓に「ACCESSING MEMORY...」と表示されて、ACCESSランプが点滅し、動作に必要な情報を読み込みます。

「メモリースティック」を取り出すには

ACCESSランプが消えていることを確認して、「メモリースティック」を一度奥に押します。手前に出てきたら、メモリースティックスロットから取り出します。

「メモリースティック」を録音/再生に使う

1 メニュー画面を表示して、「MEMORY」項目に「MEMORY STICK」を設定します（42ページ）。

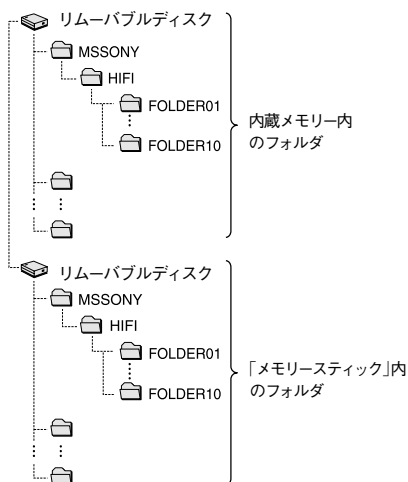
2 「アナログ入力の録音」（24ページ）/「デジタル録音」（29ページ）、または「録音した音声（トラック）を再生する」（31ページ）の操作を行います。

トラックをパソコンに保存するには

「メモリースティック」を本機に入れたまま、本機とパソコンを接続します（36ページ）。

フォルダとトラックのファイル構成について

内蔵メモリーのフォルダとは別に、「メモリースティック」内に10個のフォルダが作成されます。

フォルダとトラックのファイルの構成は、内蔵メモリーと同じです（38ページ）。

フォルダとトラックのファイルの仕様について詳しくは、38ページをご覧ください。

Information

- 録音/再生中は、「メモリースティック」を抜き差ししないでください。故障の原因となります。
- 本機でフォーマットしていない「メモリースティック」をお使いになると、正常に録音ができません。かならず本機でフォーマットした「メモリースティック」をお使いください。
- 表示窓に「ACCESSING MEMORY...」と表示されている間や、ACCESSランプが点滅している間は、メモリーへアクセス中です。アクセス中は、「メモリースティック」を取り出さないでください。データが破損する恐れがあります。
- 本機では、4GBまでの「メモリースティック PRO-HG デュオ」、「メモリースティック PRO デュオ（High Speed）」で動作確認を行っていますが、すべての「メモリースティック」での動作を保証するものではありません。ソニー製「メモリースティック」以外は本機で動作確認を行っていないため、使用した場合、不具合が発生する可能性があります。
- 「メモリースティック」の対応表については、http://www.sony.jp/products/ms/compatible/icrecorder.html をご覧ください。
- 「Memory Stick」、「メモリースティック PRO-HG デュオ」、「メモリースティック PRO デュオ（High Speed）」および MEMORY STICK は、ソニー株式会社の商標です。
- 「MagicGate」(マジックゲート)は、ソニーが開発した、著作権を保護する技術の総称です。
- 本機はパラレルデータ転送には対応していません。
- 以下の場合、データが破壊されることがあります。
  – 読み込み中や書き込み中に「メモリースティック」を取り出したり、本機の電源を切った場合
  – 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- 大切なデータは、バックアップを取っておくことをおすすめします。
- 誤消去防止スイッチがついていない「メモリースティック」をご使用の際は、誤ってデータを編集したり消去したりしないようにご注意ください。

使用上のご注意

ノイズについて

- 録音中や再生中に本機を電灯線、蛍光灯、携帯電話などに近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。
- 録音中に本機に手などが当たったり、こすったりすると、雑音が録音されることがあります。

ご使用場所について

運転中のご使用は危険ですのでおやめください。

内蔵マイクロホンについて

本機の内蔵マイクロホンは高性能エレクトレットコンデンサーマイクロホンです。マイクロホン部に強い風を吹きかけたり、水をかけたりしないでください。

お手入れ

本体表面が汚れたときは、水気を含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナーやベンジン、アルコール類は表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

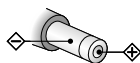
バックアップのおすすめ

万一の誤消去や、本機の故障などによるデータの消滅や破損にそなえ、大切な録音内容は、必ずパソコンなどにバックアップしてください。

ACパワーアダプターについて

- この製品には、付属のACパワーアダプター（極性統一形プラグ・JEITA規格）をご使用ください。上記以外の製品を使用すると、故障の原因になることがあります。

極性統一形プラグ

- ACパワーアダプターは容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。
- ACパワーアダプターをご使用時は、以下の点にご注意ください。
  - 本機を本棚や組み込み式キャビネットなどの狭い場所に置かないでください。
  - 火災や感電の危険を避けるために、水のかかる場所や湿気のある場所では使用しないでください。また、本機の上に花瓶など水の入ったものを置かないでください。

日本国内での充電式電池の廃棄について

Ni-MH

ニッケル水素電池は、リサイクルできます。不要になったニッケル水素電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については、有限責任中間法人JBRC ホームページ http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html を参照してください。

海外での充電式電池の廃棄について

各国の法規制に従って廃棄してください。

取り扱いについて

- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- コードを強くひっぱらないでください。
- 次のような場所には置かないでください。
  - 温度が非常に高いところ(60℃以上)
  - 直射日光の当たる場所や暖房器具の近く
  - 窓を閉めきった自動車内(とくに夏季)
  - 風呂場など、湿気の多いところ
  - 磁石、スピーカー、テレビなどの磁気を帯びたものの近く
  - ほこりの多いところ
- ラジオやテレビの音に雑音が入るときは、本機の電源を切って、本機をラジオやテレビから離してください。
- キャビネットの変形や故障を防ぐために、次のことをお守りください。
  - 本機をズボンなどの後ろのポケットに入れて座らない。
  - 本機にヘッドホンを巻きつけたまま、かばんの中に入れ、外から大きな力を加えない。

温度上昇について

長時間お使いになったときに、本体の温度が上昇することがありますが、危険ではありません。

本体・付属品について

本体、および付属品が肌に合わないと感じたときは、早めに使用を中止して医師またはソニーの相談窓口(裏表紙)にご相談ください。

別売のヘッドホンについて

- 一部のヘッドホンは、音量を上げすぎると音が外にもれます。音量を上げすぎて、まわりの人の迷惑にならないように気をつけましょう。雑音の多いところでは音量を上げてしまいがちですが、ヘッドホンで聞くときはいつも呼びかけられて返事ができるくらいの音量を、目安にしてください。
- イヤーピースは、長期の使用・保存により劣化する恐れがあります。
- ヘッドホンは、ステレオミニプラグのものをお求めください。マイクロプラグのものは使えません。
- ノイズキャンセリングヘッドホンの一部の機種は、ご使用になれない場合があります。(ソニーの製品では、MDR-NC20、MDR-NC11、MDR-NC5)

万一故障した場合は、内部を開けずに、ソニーの相談窓口(裏表紙)へご相談ください。

故障？と思われたときは

困ったときは、下記の流れに従って確認してください。

1 本体内の電池を取りはずすか、ACパワーアダプターを抜いて、すべての電源を一度切ってから、再度電源を入れてください。また、内蔵メモリーと「メモリースティック」を本機で初期化してください。
（初期化するとメモリー内のすべてのデータが削除されますので、ご注意ください。）

2 50 ～ 52ページの項目と53 ～ 55ページのメッセージ一覧をチェックし、本機を点検します。

3 それでも解決しない場合、ご不明な点は、裏表紙に記載のパーソナルオーディオ カスタマーサポートページをご覧いただくか、ソニーの相談窓口（裏表紙）までお問い合わせください。なお、保証書とアフターサービスについては、56ページをご参照願います。

症状	原因/処置
操作ボタンを押しても動作しない。	• 電池の⊕と⊖の向きを正しく挿入し直してください（18ページ）。 • 電池が消耗しています。交換してください（18ページ）。 • 誤操作防止の状態になっています。HOLDスイッチを「OFF」側にずらしてください（15ページ）。 • POWERスイッチが「OFF」になっています。「ON」にしてください。
録音できない。	• INPUTスイッチの位置が間違っています。内蔵または外部マイクロホンを使って録音するときは「🎤」（マイクロホン）の位置に、外部機器を接続して録音するときは「LINE」の位置に合わせてください（24、28 ～30ページ）。 • メモリーがいっぱいになっているか、またはメモリーの録音可能トラック数（39ページ）がすでに録音されています。不要なトラックを消去するか（35ページ）、パソコンに保存してから（36ページ）、メモリーの内容を消去します。あるいは、空き容量のある「メモリースティック」に録音します（47ページ）。 • 選んだフォルダに99トラック録音されているため、これ以上のトラックを録音できません。別のフォルダを選ぶか（24ページ）、不要なトラックを消去します（35ページ）。 •「メモリースティック」を使用している場合、誤消去防止スイッチが「LOCK」になっています。解除してください。 • 外部マイクロホンを使用するときはメニューの「PLUG IN PWR」の設定をご確認ください。
デジタルシンクロ録音ができない。	• 再生していないときでもデジタル信号が出力される機器を接続した場合は、デジタルシンクロ録音はできません。（30ページ）
アクセスランプ、ピークレベルランプ、●REC/►PLAY/ENTER/❚❚PAUSEランプが点灯/点滅しない。	• メニュー項目の「LED」が「OFF」に設定されています。「ON」に切り換えてください（42ページ）。

症状	原因/処置
トラックを削除できない。	•「メモリースティック」を使用している場合、誤消去防止スイッチが「LOCK」になっています。解除してください。 • Windowsを使用している場合、トラックのファイル(またはそのトラックの入っているフォルダ)が、パソコン上で「読み取り専用」に設定されています。パソコンでファイルまたはフォルダを表示し、プロパティの「読み取り専用」のチェックをはずしてください。 • Macintoshを使用している場合、トラックのファイル(またはそのトラックの入っているフォルダ)が、パソコン上で「ロック」に設定されています。パソコンでファイルまたはフォルダを表示し、「ファイル」の「情報を見る」から、「ロック」のチェックをはずしてください。 • 電池残量が少なくなっています。ACパワーアダプターを接続するか(20ページ)、電池を交換してください(18ページ)。
雑音が入る。	• 録音中に本機をこすると、雑音が録音されます。 • 容量の小さなファイルが多数記録されているメモリーに録音すると、雑音が入ることがあります。メモリー内のファイルをパソコンに保存してから(36ページ)、本機でメモリーをフォーマットしてください(42ページ)。 • 録音中や再生中に本機を電灯線、蛍光灯、携帯電話などに近づけすぎると、雑音が入ることがあります。本機を離してください。 • 外部マイクロホンで録音したとき、マイクロホンのプラグが汚れていると雑音が入ることがあります。プラグをきれいにクリーニングしてください。 • ヘッドホンやイヤホンで聞いているとき、ヘッドホンのプラグが汚れていると雑音が入ることがあります。プラグをきれいにクリーニングしてください。
入力される音が歪む。	• INPUTスイッチの位置が間違っています。音源、接続に合わせた位置に合わせてください(24、28 ～ 30ページ)。 • 録音レベルを適切な範囲に調整してください(25ページ)。 • 外部マイクロホンを使って録音しているとき、音源の音量が大きすぎる場合は、MIC ATTスイッチを「20」の位置に合わせてください(23ページ)。または、音源からマイクロホンを離してください。 • 入力される音に入力過多な部分があります。メニュー項目の「LIMITER」を設定し、LIMITERスイッチを「ON」に設定してください(44ページ)。
録音中「ピー」という音がする。	• ヘッドホンで録音中の音を聞いているとき、ヘッドホンがマイクロホンと近すぎると「ピー」という音(ハウリング)がする場合があります。ヘッドホンから出力される音を小さくするか、マイクロホンとヘッドホンを離してください。

次のページへ続く…▶

症状	原因/処置
録音日時が「－－y－－m－－d －－:－－」と表示される。	• 時計を合わせてください（20ページ）。時計を合わせた後に録音すると、録音日時が表示されます。
メニュー表示の項目が足りない。	• 再生、または録音中は、表示されないメニューがあります（41ページ）。
フォルダ名やトラック名が文字化けしてしまう。	• WindowsのエクスプローラまたはMacintoshのデスクトップを使ってパソコンで名前を入力した場合、本機で対応していない特殊文字や記号が混ざっていると、本機の表示窓では文字化けすることがあります。
「ACCESSING MEMORY...」表示が消えない。	• トラック数が多いと、長時間表示されることがありますが、故障ではありません。表示が消えるまでお待ちください。このとき電池やACパワーアダプターを抜かないでください。
60ページの最大録音時間まで録音できない。	• 音声データ以外のデータ（画像データなど）がメモリーに保存されていると、最大録音時間まで録音できません。 • 「メモリースティック」には最小録音単位があるため、トラックの数が多いと、端数が出ることにより実際の録音可能時間が最大録音時間より短くなることがあります。 • 60ページに記載されている録音可能時間は目安です。トラック数により変わる場合があります。 • 上記の理由により、実際に録音した時間（カウンター表示）の合計と、「残り時間」を合計した時間が、最大録音時間より少なくなる場合があります。 • 「MEMORY FULL」と表示されて録音が停止しても、メモリー内に編集用のエリアを確保しているため、空き容量が残っています。故障ではありません。 • ひとつのトラックでの録音容量が2GBを超えると、本機の仕様上、別トラックでの録音が始まります。
「メモリースティック」が認識されない。	• 「メモリースティック」内の別ファイル（画像データなど）によって、初期フォルダを作成するために必要な容量が不足しています。WindowsのエクスプローラまたはMacintoshのデスクトップなどから不要なデータを消去するか、本機でメモリーの初期化を行ってください。 • メニューの「MEMORY」で「MEMORY STICK」を選んでください。
「.WAV」ファイルを本機で再生できない。	• 本機が対応する周波数以外で記録されたファイルは、再生できません。 • 付属のアプリケーション「SonicStage Mastering Studio Recorder Edition」で「24(bit)」を選択して書き出した用件をパソコンから本機に転送する場合、必ず付属のアプリケーションをお使いください。付属のアプリケーションを使用しないと、本機で再生できない形式で転送されることがあります。

症状	原因/処置
メモリー残量が100%にならない。	• 録音中に電源が抜かれ、データが破損した可能性があります。本機でメモリーの初期化を行ってください。
ファイルを再生できない。	• 本機が対応しているファイル以外は再生できない場合があります。「主な仕様」(57ページ)をご覧ください。
文字情報をすべて見ることができない。	• MP3ファイルはタイトル名のみスクロールして表示します。ファイル名やアーティスト名はスクロールして表示されません。

メッセージ一覧

メッセージ	意味/処置
SET CLOCK	時計が設定されていません。時計を設定してから、本機をご使用ください(20ページ)。
16bit ONLY	量子化ビット数が16bitの設定をしているときのみ、「SBM」を「ON」に設定できます。メニュー画面の「REC MODE」で量子化ビット数を16bitに変更してから、「SBM」の設定を行ってください(44ページ)。
TRACK FULL	1フォルダに保存できる最大トラック数(99件)に達したため、録音やトラック分割ができません。別のフォルダに録音してください。または不要なトラックを消去するか(35ページ)、パソコンに保存して(36ページ)トラック数を減らしてください。
MEMORY FULL	内蔵メモリーまたは「メモリースティック」の残量がなくなりました。不要なトラックを消去するか(35ページ)、パソコンに保存して(36ページ)メモリーの内容を消去してください。
M.S. LOCKED	「メモリースティック」の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっています。解除してください。
READ ONLY M.S.	読み取り専用、ROMタイプの「メモリースティック」です。本機が対応する「メモリースティック」をお使いください。
ACCESS DENIED	アクセスコントロール機能付の「メモリースティック」です。録音や再生などの機能が制限されており、本機ではお使いになれません。本機が対応する「メモリースティック」をお使いください。
M.S. TYPE ERROR	非対応の「メモリースティック」です。本機が対応する「メモリースティック」をお使いください。

次のページへ続く…▶

メッセージ	意味/処置
UNKNOWN MEDIA	正規品ではない「メモリースティック」です。本機が対応する「メモリースティック」をお使いください。動作の保証はできません。
NO MEMORY STICK	「メモリースティック」が入っていません。本機が対応する「メモリースティック」を本機に入れてください（46ページ）。
FILE PROTECTED	Windowsの場合 パソコン上で「読み取り専用」に設定されたトラックは削除できません。パソコンでファイルを表示し、プロパティの「読み取り専用」のチェックをはずしてください。 Macintoshの場合 パソコン上で「ロック」に設定されたトラックは削除できません。パソコンでファイルを表示し、「ファイル」の「情報を見る」から、「ロック」のチェックをはずしてください。
UNKNOWN DATA	再生/録音しようとしているファイルが、非対応のデータであるかファイル形式が異なるため、本機で再生/録音できません。
FILE DAMAGED	再生/編集しようとしているトラックが壊れているため、本機で再生または編集を実行できません。
NO TRACK	現在選択されているフォルダにトラックがありません。
NEW TRACK	録音中にトラックのファイルサイズが2GBを超えましたので、新しいトラックとして録音します。（ファイルサイズの上限は2GBです。）
CHANGE FOLDER	フォルダ内のトラックが消去されたことにより、保存トラックがなくなり、フォルダをお使いになれません。フォルダでは、トラックが保存されていないフォルダは表示されません。
BATTERY LOW	電池残量が残りわずかのため、削除やフォーマットができません。電池を交換するか（18ページ）、ACパワーアダプターを接続してください（20ページ）。
NO INPUT SIGNAL	デジタル録音時、本機のLINE IN（OPT）ジャックに接続した光接続ケーブルからの入力がありません。接続を確認してください。
NO DIGITAL COPY	デジタル録音時、本機のLINE IN（OPT）ジャックに接続したデジタル機器からコピー禁止の音源が入力されたため、録音できません。

メッセージ	意味/処置
M.S. ERROR	もう一度「メモリースティック」を入れてください。再度この表示が出たときは、「メモリースティック」に問題がある場合があります。
FORMAT ERROR	他機で初期化されたメモリーは使用できません。メニュー画面の「FORMAT」でメモリーを初期化してください(42ページ)。パソコンなどではフォーマットしないでください。
CANNOT OPERATE	• トラックのファイル名が最大文字数に達しました。パソコン上でファイル名を短くしてください。 • ファイルの分割ができません。フォルダ内のファイル数が上限に達していないか、フォルダ内に同名のファイルが存在していないか確認してください。 • MP3ファイル、または再生専用フォルダ( )内のWAVファイルは分割できません。分割できるのは、録音可能フォルダ( )内のWAVファイルのみです。
CHANGE BATTERY	電池が消耗しています。電池を交換してください(18ページ)。
SYSTEM ERROR	システム障害が発生しました。本体内の電池を取りはずすか、ACパワーアダプターを抜いて、すべての電源を一度切ってから、再度電源を入れてください。再びこの表示が出た場合は、ソニーの相談窓口(裏表紙)にお問い合わせください。
PROCESS ERROR	プロセス障害が発生しました。本体内の電池を取りはずすか、ACパワーアダプターを抜いて、すべての電源を一度切ってから、再度電源を入れてください。再びこの表示が出た場合は、ソニーの相談窓口(裏表紙)にお問い合わせください。
POWER PROBLEM	指定以外、または故障したACパワーアダプターを使用しています。故障の原因になるためご使用を中止してください。
HOLD	本機のHOLDスイッチが「ON」に設定されているため、操作できません。(別売のリモートコマンダーからは操作できます。) 操作を行うためには、HOLDスイッチを「OFF」に切り替えてください。

保証書とアフターサービス

保証書は、記入された所定事項および記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。

調子が悪いときはまずチェックを

本書の"故障？と思われたときは"の項を参考にして、故障かどうかお調べください。

それでも具合の悪いときは

裏表紙に記載されているお問い合わせ窓口にご連絡ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に従って修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間が経過した後も故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、ソニーの相談窓口（裏表紙）にお問い合わせください。

部品の交換について

本製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

主な仕様

録音方式

内蔵フラッシュメモリー4GB使用、「メモリースティック」（別売）使用、リニアPCMステレオ録音

容量　メモリー容量の一部はデータ管理に使用されます。

実使用可能領域：約3.83GB（4,116,611,072バイト）

最大録音時間

「最大録音時間」（60ページ）をご覧ください。

リニアPCM

量子化: 16bit直線、24bit直線

周波数範囲（録音再生時LINE IN（OPT）ジャックより入力）（0 〜－2dB）：

Fs22.05kHz：20 〜10,000Hz

Fs44.10kHz：20 〜20,000Hz

Fs48.00kHz：20 〜22,000Hz

Fs96.00kHz：20 〜40,000Hz

MP3対応ビットレート、サンプリング周波数

MPEG Ver.1 Layer 3

32、44.1、48kHz

32 〜 320kbps、VBR

MPEG Ver.2 Layer 3

16、22.05、24kHz

32 〜 160kbps、VBR

信号対雑音比（SN比）（録音再生時LINE IN（OPT）ジャックより入力）

93dB以上（1 kHz IHF-A）24bit時

全高調波ひずみ率（LINE IN（OPT）ジャックより入力）

22.05kHz 16bit、44.10kHz 16/24bit：0.01%以下（1 kHz、22 kHz LPF）

48.00kHz 16/24bit、96.00kHz 16/24bit：0.01%以下（1 kHz、22 kHz LPF）

ワウ・フラッター

測定限界（±0.001%W.PEAK）以下

入出力端子

（マイクロホン）ジャック（ステレオミニ）

入力インピーダンス：22kΩ

規定入力レベル：2.5mV

最小入力レベル：0.7mV

（ヘッドホン）ジャック（ステレオミニ）

規定出力レベル：400mV

最大出力レベル：25mW＋25mW以上

負荷インピーダンス：16Ω

LINE IN（OPT）ジャック

入力インピーダンス：40kΩ

規定入力レベル：2.0V

最小入力レベル：450mV

入力レベル：－24.5 〜－14.5dBm（光デジタル入力時）

受光波長：630 〜690nm（光デジタル入力時）

LINE OUT（OPT）ジャック

出力インピーダンス：220Ω

規定出力レベル：1.7V

負荷インピーダンス：22kΩ

出力レベル：－21 〜－15dBm（光デジタル出力時）

発光波長：630 〜690nm（光デジタル出力時）

次のページへ続く

DC IN 6Vジャック（極性統一型プラグ）
USB端子（Hi-speed USB、マスストレージ対応）
メモリースティックスロット

一般

電源　DC IN 6V（AC 100V、50/60Hz）
　単3形アルカリ乾電池4本（付属）
　単3形充電式ニッケル水素電池 NH-AA 4本（別売）

消費電力
　0.75 W

最大外形寸法
　約72.0×154.5×32.7mm
　（幅/高さ/奥行き）最大突起部含まず

質量　365g（電池含む）

付属品 「付属品を確認する」（18ページ）をご覧ください。

別売アクセサリー

「メモリースティック PRO-HG デュオ」*
　MS-EX4G(4GB)
　MS-EX2G(2GB)
　MS-EX1G(1GB)

「メモリースティック PRO デュオ（High Speed）」*
　MSX-M2GNU(2GB)
　MSX-M1GNU(1GB)

* 「メモリースティック」の対応表については、http://www.sony.jp/products/ms/compatible/icrecorder.html をご覧ください。

ヘッドホン
　MDR-Z900HD、MDR-Z700DJ、MDR-EX700SL

音声コード
　RK-G129/G129CS

光デジタルケーブル
　POC-10B（光ミニプラグ↔光ミニプラグ）
　POC-10AB（光ミニプラグ↔光角型プラグ）

外部マイクロホン
　ECM-MS957

ニッケル水素電池専用急速充電器
　BCG-34HRES

充電式ニッケル水素電池
　NH-AA-4BF

リモートコマンダー RM-PCM1

三脚　VCT-PCM1

キャリングケース CKL-PCMD50

ウインドスクリーン AD-PCM1

マイクロホンアダプター　XLR-1

ヘッドホン延長ケーブル　RK-G111S

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

ファイルの仕様

内蔵メモリーおよび「メモリースティック」に音声を記録すると、トラックを保存するフォルダが、それぞれのメモリーに各10個、自動的に作成されます。録音1回ごとにひとつの「.WAV」ファイルが作成されます。
フォルダとトラックのファイルの構成は、38ページをご覧ください。

フォルダ/トラックについてのご注意

- フォルダ名は、「FOLDER 01」から「FOLDER 10」の固定になっているため、パソコン上の操作で名前を変更しないでください。名前を変更すると、フォルダが本機に認識されなくなります。
- フォルダ数は、メモリーごとに10個固定です。パソコン上でフォルダを削除すると、本機メモリーおよび「メモリースティック」内に、新規のフォルダが作成されます。
- 1フォルダに保存できる最大トラック数は、99件です。
- 1トラックのWAVファイルフォーマットで扱うことのできるデータの最大容量は、2GBです。録音中にトラックが2GBを超えると、自動的に新規トラックとしての録音が始まります。このとき、経過時間表示が0秒に戻りますが、2GBまでの録音内容は正常に保存されています。
- アナログ入力の録音のときには、録音開始後すぐに録音を停止しても、1つのトラックが生成されます。
- ファイル名は、パソコン上の操作で変更できます。このとき、本機が対応していない文字を使用すると、再生などの操作ができなくなることがあります。この場合は、ファイル名を再度変更してください。ファイル名を変更すると、再生される順番も変わります。
- ファイル名に小文字の英数字を8文字以内で使用すると本機で大文字で表示されたり、9文字以上で入力すると小文字で表示されたりすることがあります。

次のページへ続く

最大録音時間

最大録音可能時間は、全フォルダ合わせて下記のとおりです。

内蔵フラッシュメモリー(4GB)

サンプリング周波数/量子化ビット数	最大録音時間*
22.05kHz 16bit	約12時間55分
44.10kHz 16bit	約6時間25分
44.10kHz 24bit	約4時間15分
48.00kHz 16bit	約5時間 55分
48.00kHz 24bit	約3時間 55分
96.00kHz 16bit	約2時間 55分
96.00kHz 24bit	約1時間 55分

「メモリースティック PRO-HGデュオ」

サンプリング周波数/量子化ビット数	最大録音時間*		
	1GB	2GB	4GB
22.05kHz 16bit	約3時間5分	約6時間25分	約12時間50分
44.10kHz 16bit	約1時間30分	約3時間10分	約6時間25分
44.10kHz 24bit	約1時間 0分	約2時間5分	約4時間15分
48.00kHz 16bit	約1時間25分	約2時間55分	約5時間55分
48.00kHz 24bit	約55分	約1時間55分	約3時間55分
96.00kHz 16bit	約40分	約1時間25分	約2時間55分
96.00kHz 24bit	約25分	約55分	約1時間55分

* 上記最大録音時間は、録音条件によって異なります。

索引

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

ら行

次のページへ続く…▶

アルファベット順

記号・数字

お問合せ窓口のご案内

本機についてご不明な点や**技術的なご質問、故障と思われるときのご相談**については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

- **ホームページで調べるには ⇨ ICレコーダー カスタマーサポートへ（http://www.sony.co.jp/ic-rec-support/）**
  リニアPCMレコーダーに関する最新サポート情報や、よくあるお問合せとその回答をご案内するホームページです。

- **電話・FAXでのお問い合わせは ⇨ ソニーの相談窓口へ（下記電話・FAX番号）**
  - 本機の商品カテゴリーは［ICレコーダー］です。
  - お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。

  ◆ セット本体に関するご質問時：
  - 型名： PCM-D50
  - 製造（シリアル）番号： バッテリーケース収納部
  - ご相談内容：できるだけ詳しく
  - お買い上げ年月日

  ◆ 付属のソフトウェアに関連するご質問時：
  質問の内容によっては、お客様のシステム環境についてご質問させていただく場合があります。上記内容に加えて、システム環境を事前にわかる範囲でご確認いただき、お知らせください。

よくあるお問い合わせ、解決方法などはホームページをご活用ください。 **http://www.sony.co.jp/support**

使い方相談窓口

フリーダイヤル……………… 0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話… 0466-31-2511

修理相談窓口

フリーダイヤル……………… 0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話… 0466-31-2531
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「303」＋「♯」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX（共通） 0120-333-389 **受付時間** 月〜金：9:00〜20:00 土・日・祝日：9:00〜17:00

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

Printed in China